

財務諸表に対する注記

1 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法
移動平均法による原価法としている。

(2) 消費税等の会計処理
税込方式により計上している。

2 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
普通預金	305,696	-	-	305,696
定期預金	-	-	-	-
有価証券	309,826,304	-	-	309,826,304
小 計	310,132,000	-	-	310,132,000
合 計	310,132,000	-	-	310,132,000

3 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に 対応する額)
基本財産				
普通預金	305,696	(305,696)	(-)	—
定期預金	-	(-)	(-)	—
有価証券	309,826,304	(309,826,304)	(-)	—
小 計	310,132,000	(310,132,000)	(-)	—
合 計	310,132,000	(310,132,000)	(-)	(-)

4 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価格、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価格、時価及び評価損益は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	帳簿価格	時 価	評価損益
第70回中期利付国債5年	99,114,000	100,670,089	1,556,089
第296回10年国債	100,712,304	103,391,251	2,678,947
合 計	199,826,304	204,061,340	4,235,036